

## 7. 下地の処理と調整の要領

### 下 地 処 理

下地の損傷	処理	内容
クラック	Uカット処理	1.0mm以上のクラックはUカット～シーリング材充填～樹脂モルタル補修。
	エポキシ樹脂注入	1.0mm未満0.5mm以上は低圧エポキシ樹脂注入。
	充填処理	0.5mm未満のクラックは樹脂モルタル等を充填。
モルタルの浮き	エポキシ樹脂注入	ドリルで孔をあけ、エポキシ樹脂を注入補強。
モルタルの剥離 コンクリートの欠損	樹脂モルタル補修	欠損部を樹脂モルタルで補修。
鉄筋露出	錆止め塗装～樹脂モルタル補修	エポキシ系錆止め塗装の後、樹脂モルタルで補修。
シーリング材の劣化	シーリング材の打ち直し	各所、雨仕舞部の劣化したシーリング材を除去し打ち直す。

### 下 地 調 整

下地の損傷	処理	内容
フクレ・浮き ワレ・ハガレ	高圧洗浄	脆弱化した塗膜が劣化しているので、その周辺を含めケレン除去する。
	ケレン除去	ケレン部の段差が大きい場合は、樹脂モルタル等で平滑にする。
チョーチング風化 ・汚れ・油工フロ	高圧洗浄	ブラシなどを併用し、高圧水洗にてチョーチング・風化層・汚れ・ほこり等を除去する。 特に、油分は入念に除去する。
	ケレン除去	エフロはワイヤーブラシなどで削りとる。 塗膜の付着劣化を伴うことが多いので、周辺劣化塗膜も含めケレン除去する。
カビ・苔・藻類	薬品殺菌除去	ブラシ等を併用しながら薬剤にて除去する。
錆	ケレン除去	浮き錆を除去し、錆止め塗装の後仕上げ材を塗装する。